

第97期

中間事業報告書

平成14年4月1日～平成14年9月30日

証券コード 6470

TAIHO

CONTENTS

株主の皆様へ
営業の概況
TAIHOTピックス
業績ハイライト
配当金
単独決算の概要
連結決算の概要
株式の概況
会社の概況

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る9月2日における前取締役社長福間宣雄氏の死去にともない、私こと、このたび当社取締役会におきまして、代表取締役社長に選任されました。微力ながら、今後、誠心誠意社業発展のため努力をいたす所存でございます。

つきましては、ここに当社第97期中間期(平成14年4月1日～平成14年9月30日)の営業の概況と中間決算の結果につきましてご報告申し上げます。

皆様には、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年11月



取締役社長
高橋 清八

【経営方針】

社 是

わが社は時流に先んじ、合理主義に基づき
優れた製品をもって顧客の信頼に応える
信頼の大豊

中期経営方策 2000.4～2003.3



4つの挑戦の成果をあげて国際競争力を向上し、
『第3の道』をめざす。

【4つの挑戦】

海外展開 製法の刷新 新製品の開発 営業の開発

【第3の道】

『独自技術を核にした提案型の自動車部品会社』への道

- 1 グローバル営業・生産体制を強化し、顧客の世界最適調達に迅速に対応する。
- 2 新製品の市場投入、製法の刷新による大幅なコスト低減と品質向上を早期に実現し、国際競争力を向上する。
- 3 企業価値を高め、四者(株主・顧客・社員・社会)満足をめざす。

当中間期のわが国経済は、株式市場の低迷や不良債権問題等一層不透明感を増しており、依然として厳しい雇用情勢や個人消費の落ち込みが続くなか、景気は低調に推移いたしました。

自動車業界におきましては、国内販売は景気低迷により前年同期を若干下回りましたが、四輪車全体の国内生産台数につきましては、海外販売の好調から輸出が増加し、前年同期を上回りました。

このような情勢のなかで、当社は中期経営計画（'00年度～'02年度）の完結の年として、今まで取り組んできた「四つの挑戦」（海外展開、製法の刷新、新製品の開発、営業の開発）を着実に実施し、成果を上げてまいりました。

海外事業につきましては、今年4月及び5月にハンガリー、インドネシア、韓国において新工場が完成し、本格生産を開始いたしました。

アメリカでは、今年9月に米国大手自動車部品メーカーのFM社とシリンダーヘッドガasketの合併会社を設立いたしました。

さらに、中国では、今年10月に大手すべり軸受メーカー「煙台春生滑動軸承有限公司」を買収し、来年には日系メーカーへエンジンベアリングの供給を行う予定であります。

また、今年5月に東南アジア全体での情報の拠点としてタイ・バンコク市に「バンコク駐在員事務所」を開設いたしました。

当中間期の業績につきましては、新製品が売上増に大きく寄与したこともあり、売上高は244億4千万円となり、前年同期に比べ16億5千4百万円

（7.3%増）の増収となりました。利益につきましては、営業利益は13億7千7百万円と前年同期に比べ9千7百万円（7.6%増）、経常利益は14億4千9百万円と前年同期に比べ1億8百万円（8.1%増）の増益となりました。

中間利益は、8億2千2百万円と前年同期に比べ7千5百万円（10.1%増）の増益となりました。

設備投資につきましては、製法の刷新による軸受素材ライン、研究開発投資、新製品切替投資および生産性向上のための合理化投資を重点に総額16億5千8百万円を実施いたしました。これらに要した資金は、自己資金で充ちております。

中間配当金につきましては、平成14年10月29日開催の取締役会において、当初予定どおり1株につき8円とし、平成14年11月29日を支払開始日とすることを決めさせていただきましたのでご報告申し上げます。

今後の経済の見通しにつきましては、更なるデフレの進行も予想され、景気の先行きは引き続き厳しい状況が続くものと思われれます。

自動車業界におきましては、国内販売は自動車メーカー各社の新モデル投入による拡販努力は見込まれるものの、世界最大の米国市場においては景気動向に、まだ不透明感があり楽観できる状況にはないと思われれます。

このような環境のなかで、当社は「スピード&オープン」のスローガンのもとに国際競争力を確かなものとし、「独自技術を核にした提案型の自動車部品会社」としてグローバルに展開する所存であります。

環境負荷の軽減と性能向上の両立

鉛フリー軸受のラインナップを拡充

環境問題への関心が高まるなか、当社では環境負荷物質に指定されている鉛を一切含まない鉛フリー銅合金軸受「RA500 / HS100」に続き、鉛フリーアルミ合金軸受「RA520 / SA250」の量産化にも成功し出荷を開始しました。

これまでエンジンベアリングの素材として鉛は不可欠とされてきましたが、『鉛がなくても成立する摺動表面メカニズム』というまったく新しいコンセプトで独自開発に取り組み、固体潤滑材をベースとしたオーバーレイ材（RA500、RA520）と新しい合金によるライニング材（HS100、SA250）との組み合わせで鉛を使用していた従来材よりも優れた特性を発揮する軸受が完成しました。



鉛フリー軸受

軸受以外の製品分野でも鉛フリー化を推進
軸受製品以外でも当社では、これまで鉛を必要としてきたいくつかの分野で「環境対応製品」として鉛フリー化を推進しています。

はんだ材料では、厳しい環境下で使用される車載用ECU向けに、鉛フリークリームはんだ「ST150」を開発。また、ホイールのバランス調整に使用するバランスウェイトでも、鉛に代わる素材を用いた画期的な製品を生みだしています。



車載用鉛フリークリームはんだ



鉛フリーバランスウェイト

さらなるグローバル展開を推進

米国FM社と合併会社を設立

今年9月、当社の100%出資子会社「タイホウコーポレーション オブ アメリカ」(TCA)と、米国の大手自動車部品メーカーFM社(Federal-Mogul Corporation)は、それぞれ50%出資の合併会社「TF Global Gasket, LLC」(TFGG)をテネシー州ゴードンズビルに設立しました。

TFGGでは、北米における自動車メーカー向けにシリンダーヘッドガスケットを生産・販売する予定で、今年12月より製品出荷を開始。2003年度には売上高12億円を見込んでいます。

中国大手すべり軸受メーカーを買収

今年10月、当社は中国の大手すべり軸受メーカー「煙台春生滑動軸承有限公司」(山東省煙台市)の資本持分権の全てを譲り受けました。

煙台春生は主に中国市場の大型トラックや建設機械用のエンジンベアリングを製造しております。当社は、この生産を継続しながら来春には、乗用車向けエンジンベアリングの加工設備を導入する予定です。これにより「天津豊田汽車発動機有限公司」など中国に進出している日・米・欧の自動車メーカー向けにも乗用車用エンジンベアリングの拡販を行います。

将来的には、中国からの輸出も計画しています。



【グローバル展開】



デュッセルドルフ事務所(TDL)



タイホウコーポレーション オブ ヨーロッパ有限会社(TCE)



タイホウコーポレーション オブ アメリカ(TCA)



TCAデトロイト営業所



バンコク事務所(TBL)



TFグローバルガスケットLLC(TFGG)



タイホウ Nusantara株式会社(PTN)



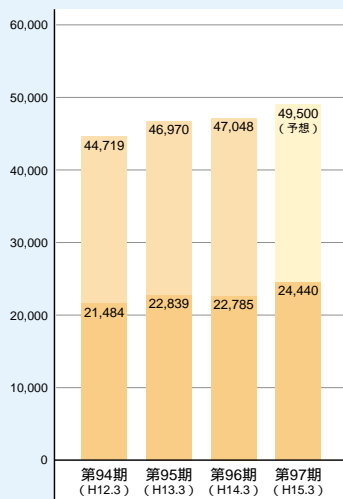
煙台春生滑動軸承有限公司



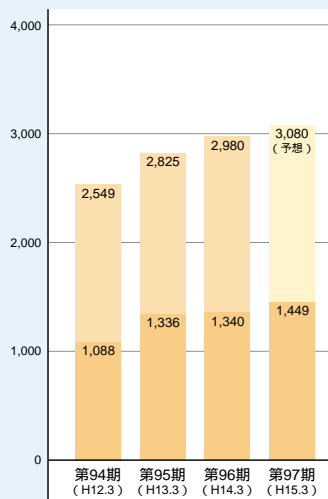
韓国大豊株式会社(TCK)

単独

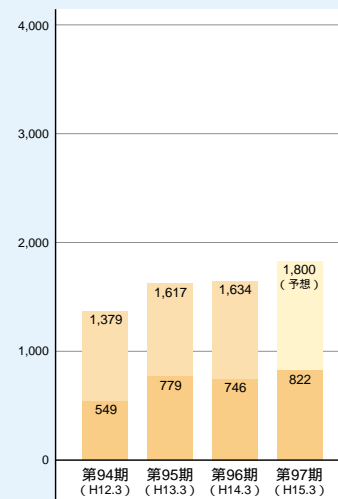
【売上高】(単位:百万円)



【経常利益】(単位:百万円)

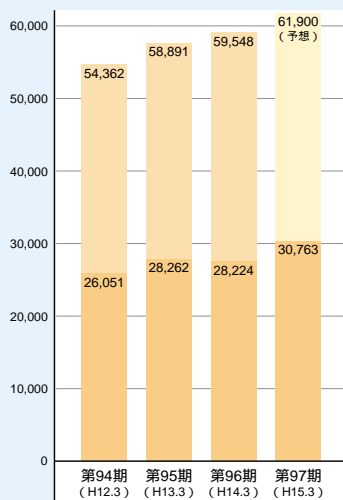


【当期利益】(単位:百万円)

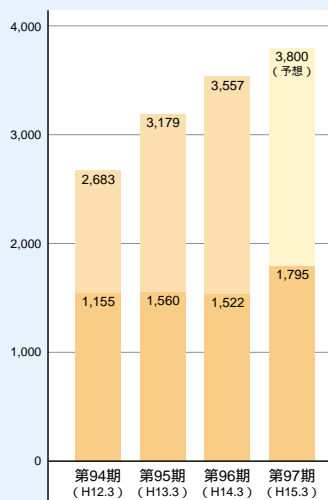


連結

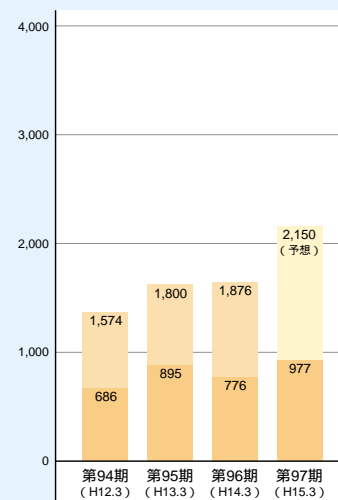
【売上高】(単位:百万円)



【経常利益】(単位:百万円)

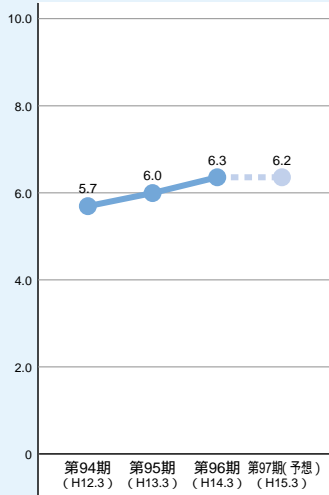


【当期利益】(単位:百万円)

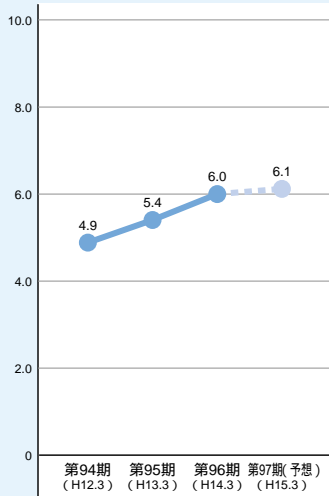


通期
上半期

【売上高経常利益率】(単位:%)

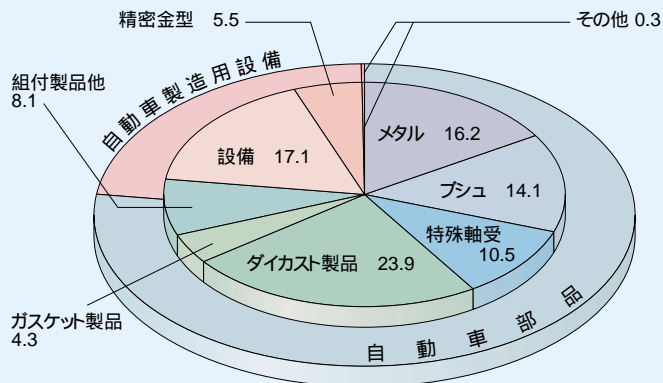


【売上高経常利益率】(単位:%)



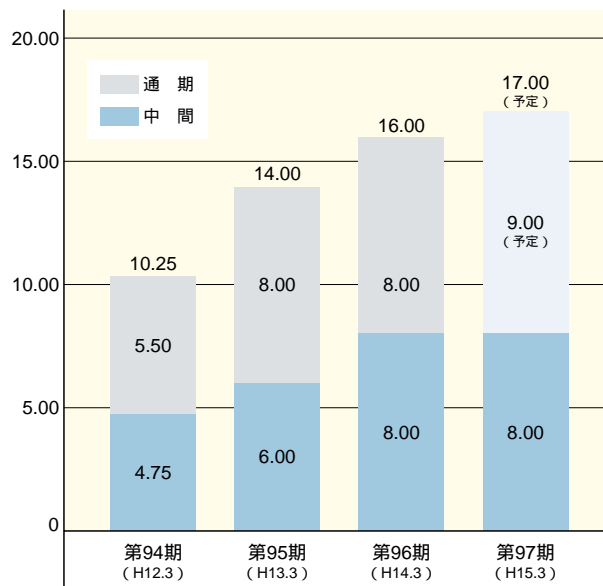
品目別売上高構成(連結)

(単位:%)



配当金

【1株当たり年間配当金】(単位:円)



単独決算の概要

貸借対照表

単位:百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当中間期	前 期
	平成14年 9月30日現在	平成14年 3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	16,996	17,427
現金預金	3,155	3,429
受取手形及び売掛金	8,889	9,253
有価証券	1,677	1,772
たな卸資産	1,369	1,280
その他	1,904	1,691
固定資産	28,701	26,986
有形固定資産	20,344	20,312
建物	4,018	4,172
機械装置	8,873	8,576
土地	5,992	5,992
その他	1,459	1,571
無形固定資産	136	117
投資等	8,219	6,556
投資有価証券	1,862	1,760
子会社株式・出資金	3,465	2,910
その他	2,891	1,884
合 計	45,697	44,414

科 目	当中間期	前 期
	平成14年 9月30日現在	平成14年 3月31日現在
【負債の部】		
流動負債	9,543	8,628
支払手形及び買掛金	5,027	4,680
未払金	1,043	444
未払費用	2,483	2,530
その他	989	973
固定負債	3,840	4,014
退職給付引当金	3,840	4,014
負債計	13,383	12,642
【資本の部】		
資本金	5,726	5,726
資本剰余金	6,324	6,324
利益剰余金	20,495	19,929
うち中間(当期)利益	(822)	(1,634)
評価差額金	144	167
自己株式	376	375
資本計	32,314	31,771
合 計	45,697	44,414

損益計算書

単位:百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当中間期	前中間期
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで
売上高	24,440	22,785
売上原価	20,267	18,788
販売費及び一般管理費	2,795	2,716
営業利益	1,377	1,279
営業外収益	207	139
営業外費用	135	78
経常利益	1,449	1,340
特別利益	1	3
特別損失	15	75
税引前中間利益	1,435	1,268
法人税、住民税及び事業税	715	530
法人税等調整額	101	7
中間利益	822	746
前期繰越利益	406	349
中間未処分利益	1,229	1,095

中間配当金について

平成14年10月29日開催の取締役会において、平成14年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主または登録質権者に対して行う中間配当につき、次のとおり決議しました。

1. 中間配当金 1株につき8円
2. 支払請求権の効力発生日 および支払開始日 平成14年11月29日

連結決算の概要

連結貸借対照表

単位:百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当中間期	前 期
	平成14年 9月30日現在	平成14年 3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	21,568	22,863
現金預金	4,899	5,688
受取手形及び売掛金	10,800	11,351
有価証券	1,682	1,779
たな卸資産	2,293	2,468
その他	1,892	1,574
固定資産	31,402	29,517
有形固定資産	26,332	25,537
無形固定資産	166	149
投資その他の資産	4,903	3,829
合 計	52,970	52,380

科 目	当中間期	前 期
	平成14年 9月30日現在	平成14年 3月31日現在
【負債の部】		
流動負債	12,586	12,387
固定負債	4,170	4,359
退職給付引当金	3,813	4,002
その他	356	356
負債計	16,757	16,747
【少数株主持分】		
少数株主持分	866	839
【資本の部】		
資本金	5,726	5,726
資本剰余金	6,324	6,324
利益剰余金	23,152	22,463
評価差額金	140	165
為替換算調整勘定	379	489
自己株式	376	375
資本計	35,346	34,793
合 計	52,970	52,380

連結損益計算書

単位:百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当中間期	前中間期
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで
売上高	30,763	28,224
営業利益	1,795	1,503
経常利益	1,795	1,522
特別利益	1	3
特別損失	25	79
税金等調整前中間純利益	1,771	1,445
中間純利益	977	776

株式の概況

(平成14年9月30日現在)

株式の状況

- 株式の総数
会社が発行する株式の総数…… 48,400,000株
発行済株式総数…… 24,931,000株
- 株主数…… 6,542名

大株主(上位10名)

	持株数:千株
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	468
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	460
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	349
大豊工業従業員持株会	347
野々山秀夫	305
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	264
柴田幸子	256

(注) 当社は自己株式390千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の大株主から除いております。

会社の概況

(平成14年9月30日現在)

会社概要

設立	昭和14年12月1日
資本金	57億2千6百万円
従業員数	1,451名
事業内容	軸受製品、ダイカスト製品、 ガasket製品、精密金型、 組付製品他 上記製品の製造および販売

生産および営業拠点

本社 / 本社工場
〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3 - 65
技術本館 / 細谷工場
〒471-8502 愛知県豊田市細谷町2 - 47
篠原工場(愛知県豊田市)
九州工場 / 九州営業所(鹿児島県出水市)
春日井工場(愛知県春日井市)
幸海工場(愛知県豊田市)
岡崎工場(愛知県岡崎市)
東京営業所(東京都港区)
大阪営業所(大阪市福島区)
静岡営業所(静岡県掛川市)
松本営業所(長野県松本市)
デュッセルドルフ事務所(ドイツ)
バンコク事務所(タイ)

子会社

大豊精機株式会社
株式会社ティーイーティー
株式会社タイハウライフサービス
株式会社タイハウテクノサービス
タイハウコーポレーション オブ アメリカ
タイハウヌサンタラ株式会社
タイハウコーポレーション オブ ヨーロッパ有限公司
韓国大豊株式会社

関連会社

日本メタルガasket株式会社
株式会社内藤

役員

地位	氏名
取締役社長	高橋清八
取締役副社長	緒方士郎
専務取締役	津田重郎
専務取締役	小池宣夫
常務取締役	河合弘義
常務取締役	福田孝
取締役	三好健雄
取締役	近藤孝
取締役	鈴木勝美
取締役	能瀬嘉則
取締役	村木武
取締役	寺田博道
取締役	野々山秀夫
取締役	篠田進弥
取締役	熊田喜生
取締役	柴田和敏
常勤監査役	清益実
常勤監査役	福岡辰彦
監査役	加藤由人

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
利益配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03(5683)5111(代表)
同事務取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞



大豊工業株式会社

この事業報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
総務部広報室 / 0565(28)2225 URL.....<http://www.taihonet.co.jp/>